

地域連携推進会議（GHたすき、なぎさ）

1. 日 時 : 令和 8 年 1 月 16 日 (金) 10 時 ~ 11 時 30 分

2. 場 所 : 若久緑園 会議室

3. 出席者 : 9 名

【委 員】 5 名

平川 千佳、井上 茂雄、上妻 亜奈人、大坪 哲平、吉田 加代

【事務局】 4 名

若久緑園園長－上原 桂一郎

若久緑園園長補佐、法人本部事務局長（GH管理者）－内藤 達夫

若久緑園地域支援部長－都合 賢祐

若久緑園地域支援係長（GHサービス管理責任者）－外間 勇太

4. 議事進行

(1) 委員及び事務局職員の紹介

(2) グループホーム（たすき・なぎさ）の概要説明

(3) グループホーム（たすき・なぎさ）の施設見学

(4) 質疑応答、意見交換

5. 質疑応答、意見交換の概要

- ・ 委員から居室についても入居者の状況をしっかり見ていただけているのだと安心した。それぞれの利用者の要望も聞いて支援の改善に繋げている点もありがたいとの意見あり。
- ・ 委員からグループホーム入居後の利用者の地域生活への移行について、支援制度や法人での実績があるのか質問あり。
⇒ サテライト型グループホームのサービス内容及び当法人では過去に男性 2 名、女性 1 名がサテライト型を経て地域へ移行した旨、回答。
- ・ 委員から、今日、自分の目で見て、手厚くきちんと支援していただいていることがわかったとの意見あり。
- ・ 委員からグループホームの総量規制があった場合、緑園卒園生の行き場がなくなるのではとの質問あり。
⇒ グループホームは緑園卒園生の住まいを第一に考えて設置している。必要であれば設置について今後とも国や行政に要請していく旨、回答。
- ・ 委員からグループホーム利用者の家族との連携について質問あり。
⇒ 家族とは、定期的に連絡をとっている。また、何かあれば適宜、協議して利用者支援に活かしている旨、回答。
- ・ 委員から女性の受け入れについてどのように考えているか質問あり。
⇒ なぎさの 2 階のうち二部屋は女性の利用を想定してつくっている。空室が出てタ

イミングが合えば女性利用者の受け入れは可能と回答。

- ・ 委員から板屋学園の利用者や他の法人からの利用もできるのか質問あり。

⇒ 緑園卒園者が優先であるが、空室が出てタイミングが合えば他からの受け入れも可能と回答。

- ・ 委員から利用者のスマホに外部から様々な情報が入ってくるがセキュリティや安全対策はどうしているか質問あり。

⇒ 利用者が携帯でゲームに課金して高額な請求が来ているケースもある。本人と話をして本人に制限をかけてもらっているが、問題解決に至っておらず引き続き課題であると回答。

- ・ 委員から利用者が高齢になりグループホームでの生活が困難になった後の行き場について質問あり。

⇒ 緑園だけでなく板屋学園も含めた法人全体で考えていく問題である。板屋学園に空きがあれば板屋学園への入所も選択肢としてある旨回答。